

主題名「家族の一員として」 (第1学年 C-14 家族愛、家庭生活の充実)

■本事例のポイント

1. 学習支援アプリを活用し、生徒の考えを可視化することで、話し合い活動に目的意識をもたせた。
2. 生徒自ら問いを立て、関心のあるテーマを選択することで、自分事として学習に取り組む姿勢を育むことを目指した。

■ユニット学習の目標

「家族の一員としてよりよく生きるためにはどうしたらよいか」という問いを基に、自分が考えた問いを立て、他者との対話を通して、家族愛に対する考えを深め、家族とよりよい生活を築こうとする実践意欲を育む。

* ユニット学習…テーマに基づいた複数の価値を関連付けて、複数時間で小単元化して構成する授業方法

■ユニット学習の指導計画 (2時間)

第1時 「黒い弁当」

- ・物語の出来事を様々な立場で考える。
- ・心情メーターで考えを可視化する。
- ・可視化した考えを基に交流する。
- ・生徒の意見を拾い、全体共有する。
- ・気付いたことや感じたことをまとめる。

第2時 「黒い弁当」

【ねらい】

日常生活から生まれた問いについて考え、話し合う活動を通して、家族に対する愛情や尊敬の念を深め、家族への思いやり、家族のためにできることを積み重ねていこうとする意欲を育てる。

- ・第1時に選択した問いについて考える。
- ・同じ問い、異なる問いそれぞれの考えを共有する。
- ・2時間を通して感じたことをまとめる。

■本時の概要

【ねらい】

弁当を捨てた(捨てられた)事象について、「当時の私」「祖母」「今の私」の立場から考える活動を通して、家族それぞれに思いや考えがあることに気付き、今まで自分に注がれてきた無私の愛情に感謝し、家族を敬愛し、大切にしようとする心情を育む。

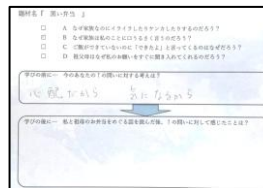
【問いの設定】

- A 家族なのにイライラしたりケンカしたりしてしまうのはなぜだろう？
- B なぜ家族は私のことに口うるさく言うのだろう？
- C ご飯の準備が終わっていないのに「ご飯できたよ」と言ってくるのはなぜだろう？
- D 私のお願いを祖父母はすぐに「いいよ」と言ってくれるのはなぜだろう？

生徒が自分事として捉えられるよう、事前アンケートや生徒との意見交換を基に生徒の言葉から問いを設定しました。



問いをもつ



考える



交流



全体共有



